

**令和 8 年度まちなかエリア周遊プラットフォーム構築事業業務委託
プロポーザル評価審査基準書**

1 評価方法

本公募の業者選定方法は、提案内容を評価対象とする総合評価方式とします。評価審査基準については、以下を参考としてください。

2 評価項目及び配点

1,000 点満点（各審査員は 200 点保持し、5 人で合計 1,000 点）とします。

5 人の審査員は次ページの評価項目により評価を行います。審査員は各項目の配点を上限として仕様書に記載されている内容の実現度等をもとに採点します。

3 判定方法

評価点の合計点数が一番高い事業者を、業務委託候補者とします。1 位の事業者が同点で複数となった場合は、審査会で協議の上、業務委託候補者を決定します。

項目		配点
事業計画（４０）		
３か年計画の具体性・実行可能性（２０）		
	伊那市の地域特性を理解した提案となっているか	10
	本事業の目的を理解し、各段階の目標設定が具体的かつ実現可能な提案となっているか	10
令和８年度計画の具体性・実行可能性（２０）		
	官民共創を理解し、次年度以降への継続が論理的か	10
	ワーキンググループ等の構成、開催頻度、スケジュールが具体的か	10
ワーキンググループ等の運営体制（６０）		
官民共創体制の構築（１０）		
	多様な世代の市民参画を促す工夫が具体的か	5
	行政との円滑な連携体制が具体的か	5
ワークショップ等の企画・運営能力（２０）		
	ワーキンググループ等に必要なインプットを構想した企画となっているか	10
	実証計画策定までのロードマップが具体的かつ実現可能となっているか	10
課題抽出及び課題解決への導き出し（１５）		
	ワーキンググループ等からの課題抽出手法が適切かつ具体的か	5
	抽出された課題から解決策（必須情報、付加情報）及び情報プラットフォームのあり方が論理的に導き出せる手法となっているか	10
ワーキンググループ等の継続的運営（１５）		
	段階に応じて、ワーキンググループ等を交え官民共創を為し得る運営となっているか	10
	3か年継続して、官民共創による実証となるような工夫がされているか	5
アライアンス構築及び実証（６５）		
アライアンス構築（２０）		
	自社の専門性を明確に示し、不足する専門性を補うアライアンスを想定しているか	10
	ワーキンググループ等の課題に即して、柔軟な再構築が可能か	10
実証計画（２０）		
	ワーキンググループ等から導き出した解決策を実現可能な計画へ落とし込む工夫が具体的か	10
	実証するITツール等について、実証結果に応じて柔軟に要否の判断を可能とする工夫が具体的か	10
効果測定・軌道修正（２５）		
	プラットフォームの利用状況、人流データ等の測定方法が想定されているか	10
	ワーキンググループ等を含めた市民を対象に実証する工夫が具体的か	5
	効果測定によって、軌道修正する機会を定期的に設けているか	10
ビジネスモデル・持続可能性（２０）		
	広告等の収入源の想定が具体的か	10
	令和１１年度以降の社会実装を見据え、地元企業等を巻き込んだ体制や運営マニュアルの策定など実証結果・ノウハウを効率的に引き継ぐ想定がされているか。	10
過去の実績、成果（１０）		
	当事業と同様の市民課題抽出、計画策定、機能実証及び社会実装に至る実績を有するか	10
プレゼンテーション等（５）		
	伊那市の公募の主旨に対し、真摯な提案がされているか	5